

TISインテックグループ 事業説明会（グローバル事業）

2020.12.4

TIS Inc.

古庄 建作 グローバル本部 本部長

- ✓ クレジットカードシステムにおける、プログラマ、SE、PM、営業を経験し、2012年より企画部へ
- ✓ 2014年、タイのリーディングSIer MFECとの資本・業務提携より、グローバル事業を担当（現在に至る）

略歴

2002年3月	九州大学大学院修了
2002年4月	TIS株式会社入社
2004年1月	カード基幹システム開発
2009年1月	カード営業
2012年4月	コーポレート本部 企画部
2017年4月	海外事業企画部 部長
	TISI Singapore Pte. Ltd. Managing Director（現任）
2020年4月	グローバル本部 本部長（現任）

グローバル本部

TISインテックグループのグローバル事業戦略の立案・推進



インダストリー 事業統括本部

アカウント密着型で個社戦略に特化した開発・保守・運用ビジネスを提供



サービス 事業統括本部

サービス型のITソリューションを提供



国内 グループ会社



海外 グループ会社

ビジネスイノベーション事業部

イノベーションとコンサルティングの2つの軸で、企業の経営課題の形成～効果創出まで幅広いフェーズに対して総合的に支援

テクノロジー&イノベーション本部

ソフトウェア開発競争力の強化、オープンイノベーションによる新規事業創出、先進技術のR & D

企画本部、人事本部、管理本部、業務本部、品質革新本部

1. ビジョン、基本方針
2. グローバル事業戦略
3. ビジネスシナジー
4. グローバルチーム

ビジョン、基本方針

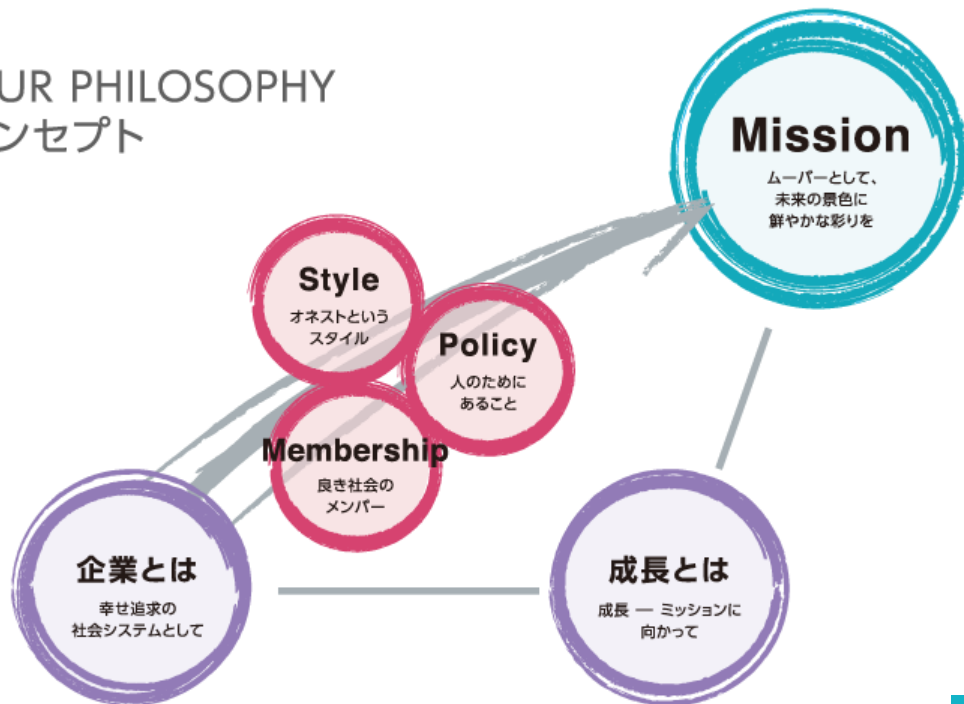
Mission (社会に対して果たすべき役割)

デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける

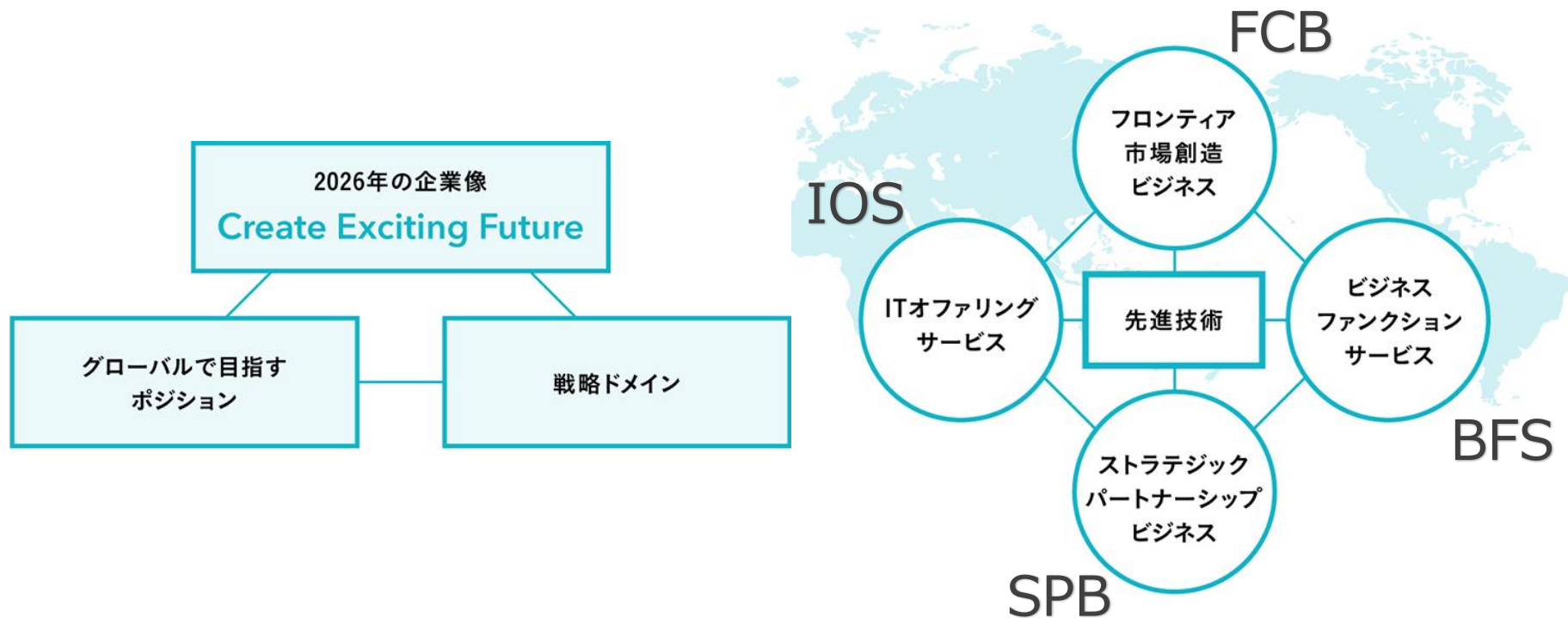


「OUR PHILOSOPHY」は、T I Sインテックグループの価値観です。グループの経営、企業活動、構成員において、大切に考える方やあり方を幅広く明確化しており、当社グループのすべての営みはこの「OUR PHILOSOPHY」を軸に行われます。当社グループは、社会に対して果たすべき役割として、「デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける」存在でありたいと考えています。

OUR PHILOSOPHY
コンセプト



先進技術・ノウハウを駆使し、ビジネスの革新と市場創造を実現する



グローバル 展開の目的

- 対象マーケットの拡大
- グローバル事業収益拡大

基本方針

SIerからサービス提供者へ変革し、
ASEANトップクラスの
IT連合体を組成する

基幹戦略

- 提携先間の連携を強化することにより企業価値を最大化
- 世界最先端の技術やサービスを獲得し競争力を拡大
- グローバルに展開できるIOS/FCBを創出する

グローバル事業戦略

グローバル展開の歴史

 **Vietnam**
Tinhvân
TOGETHER WE SHINE
Capital / Business Alliance

 **Thailand**
IAM **TBWC** **MFEC** **PROMPT NOW**
Public Company Limited
M&A, Joint Venture

 **Singapore**
Grab **r3.** **SQREEM** **ENTROPICA LABS**
Capital / Business Alliance

 **Indonesia** **digital exchange.id**
HARSYA REMITINDO **anabatic TECHNOLOGIES** **DUNIA BAYAR INDONESIA** **chipsakti**
Capital / Business Alliance

1988-2011

Phase 1

China Business Development

2012-2013

Phase 2

Build Up of SG/TH/VN Triangle

2014-

Phase 3

ASEAN Business Expansion

人口、人材

- 域内人口：約7億人
- 平均年齢：約35歳
- *2030年予測



社会課題

- 脆弱な社会インフラ
- 所得格差、貧困
- 銀行口座保有率：約30%*



GDP (PPPベース)

- 2050年、インドネシアは世界4位へ
- VN, PH, TH, MYも世界トップ25位圏内へ



デジタルエコノミー

- デジタル経済：USD 300B
- *2025年予想（2019年比3倍）
- インターネットアクセス：5億人
- *2035年予想



地理

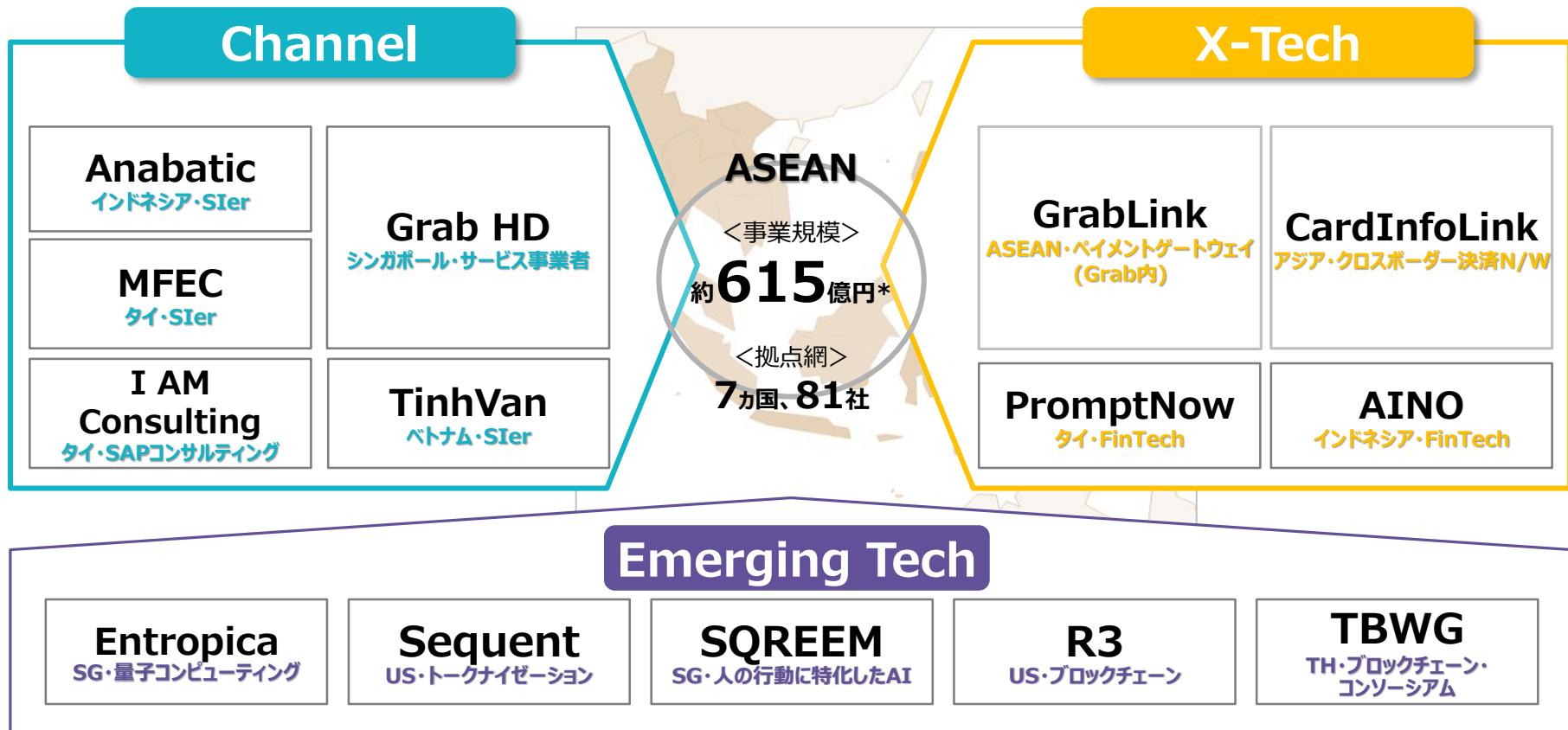
- 巨大市場の中国・インド、日本、オーストラリアに囲まれる
- 各国は重要なターゲット市場に位置付け



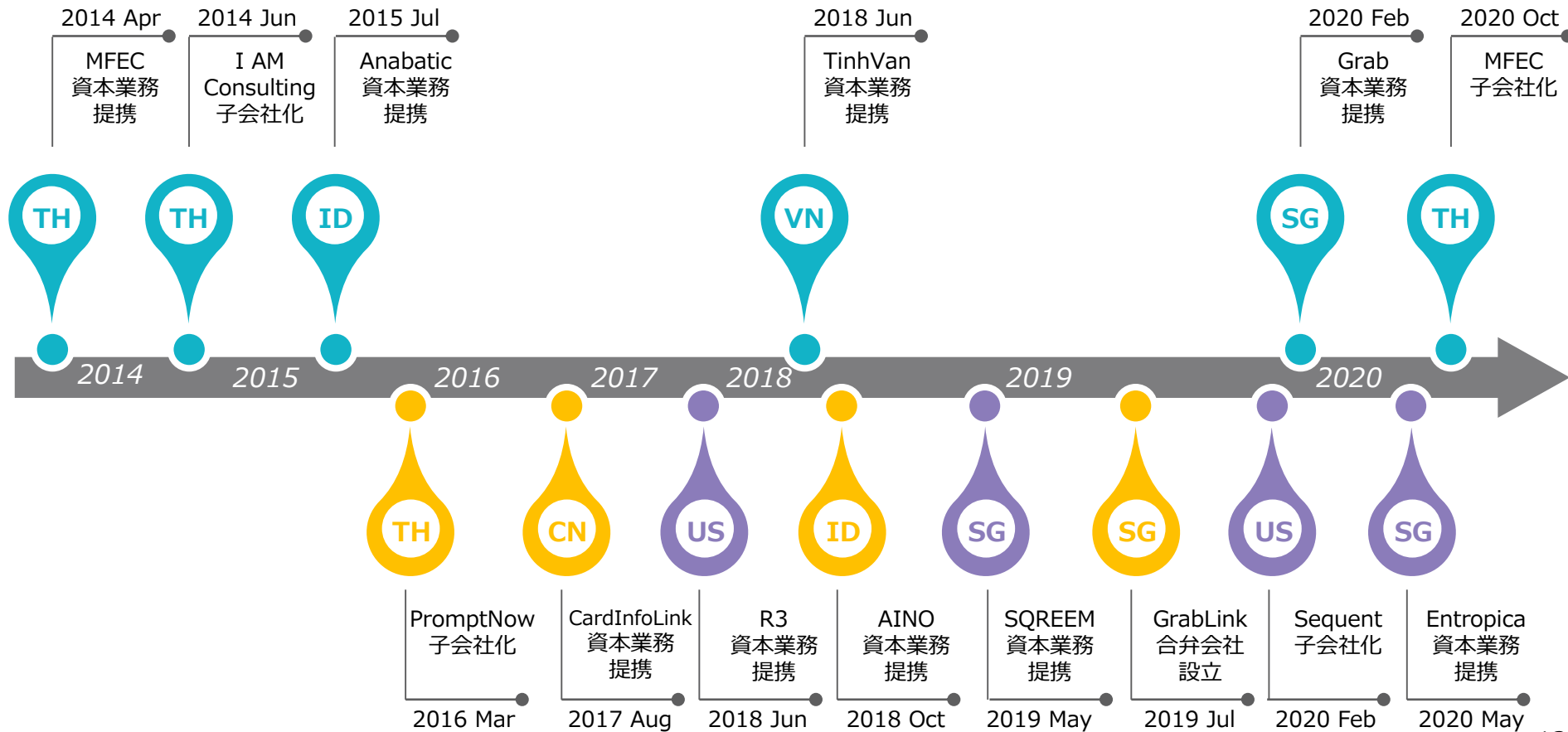
スタートアップ・エコシステム

- シンガポールは国際競争力世界1位
(World Economic Forum、IMD World Competitiveness Ranking)





グローバルパートナーシップ



Card & Payment



- QR Payment Gateway for Merchant
- Digital Wallet using Tokenization Technology
- Rewards, Mini program

Bank



- Core-Banking (TEMENOS)
- Anti-Money Laundering and Fraud Management
- Digital Banking Consultancy

Manufacturing & Energy



- ERP/SCM (Oracle, SAP, Microsoft)
- Enterprise Information Management (EIM)
- Application Management Outsourcing (AMO)

Healthcare & Insurance



- Mobile Insurance
- Matching Doctor/Patient with Medical Solutions
- Outsourcing

Utility & Government



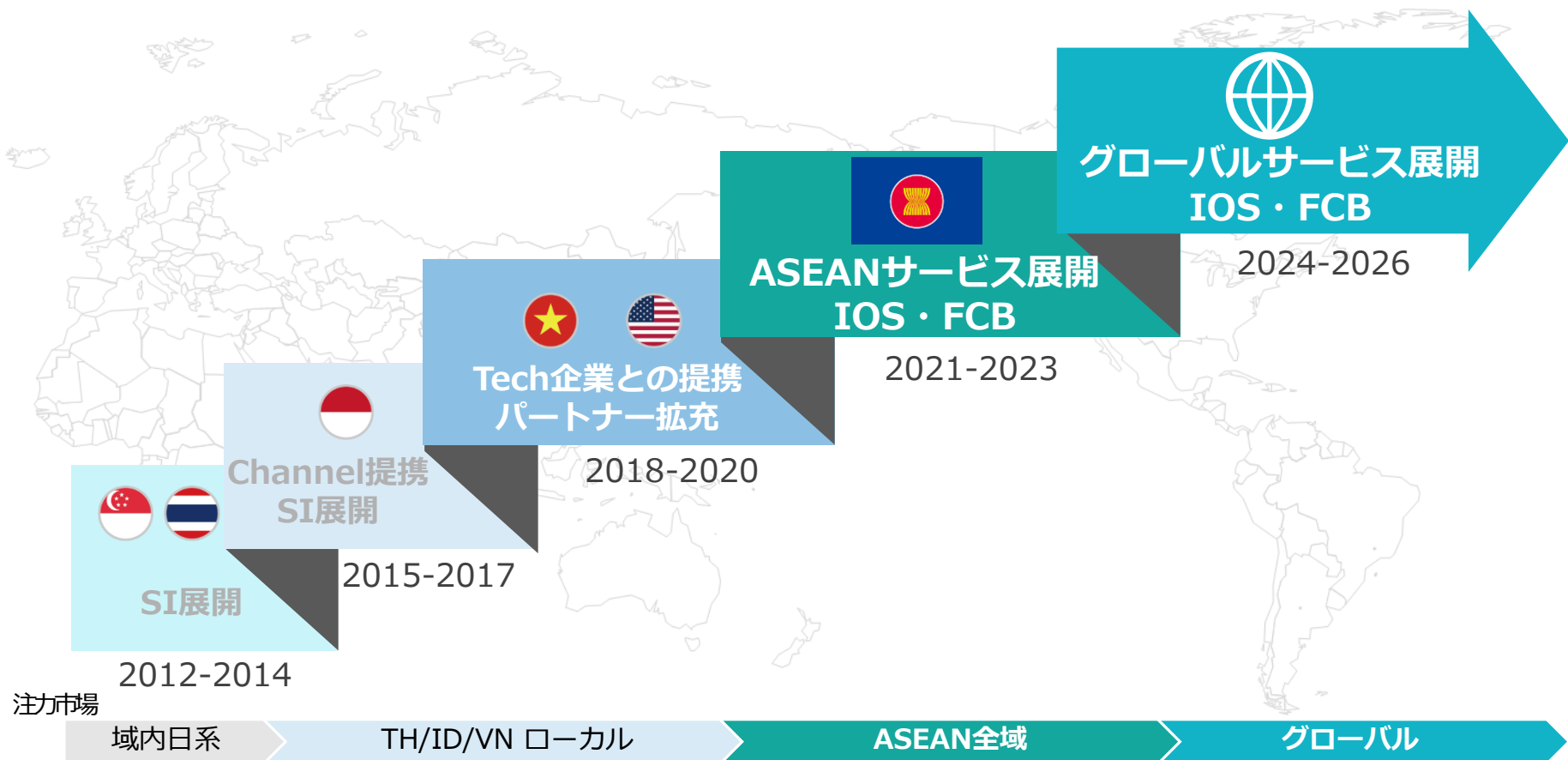
- E-KYC
- E-Tax Invoice As a Service
- Predict Market Events

Others

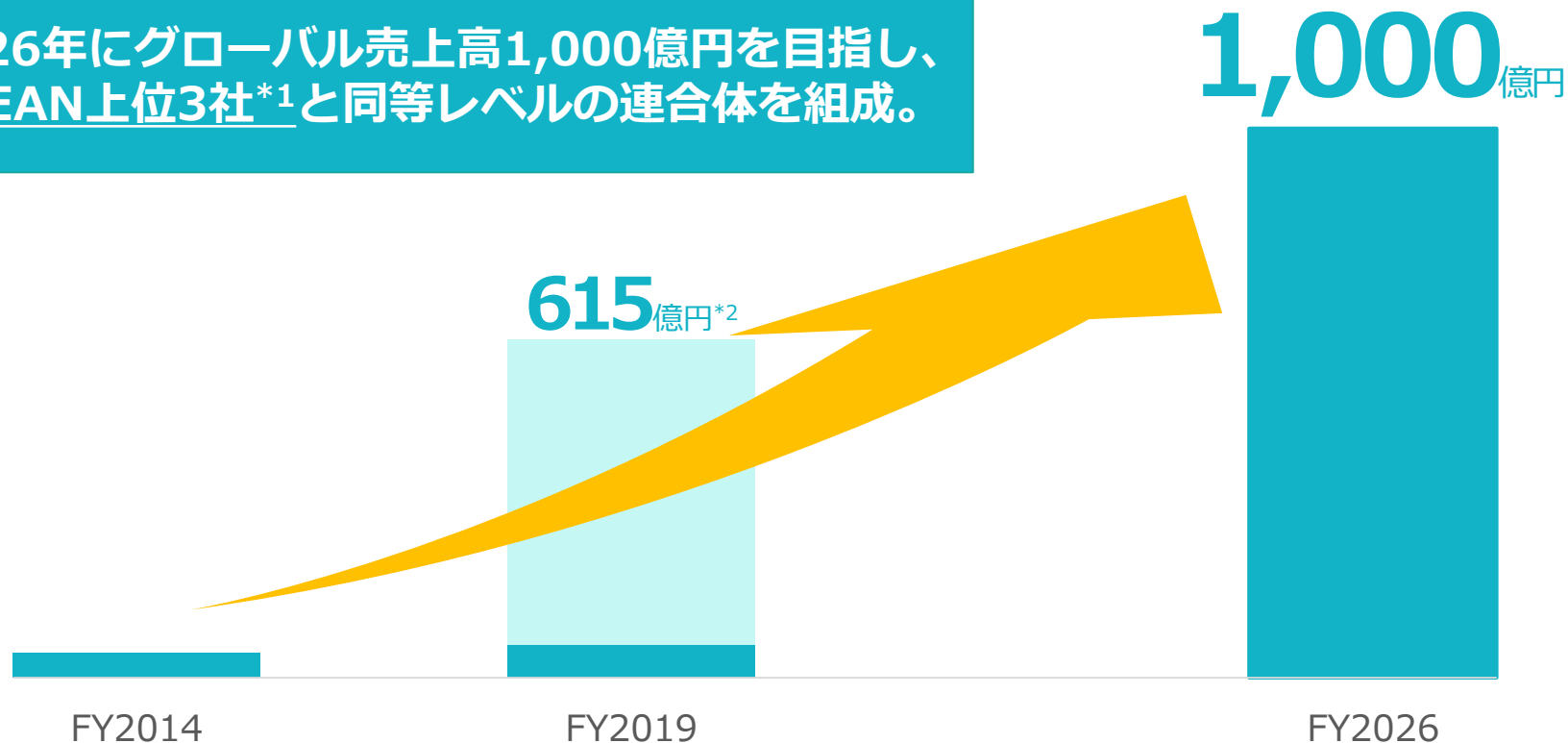


- Business Intelligence, Data Management Service
- Detect potential software failures
- Cloud (IaaS), Data Center

グローバル事業拡大ステップ

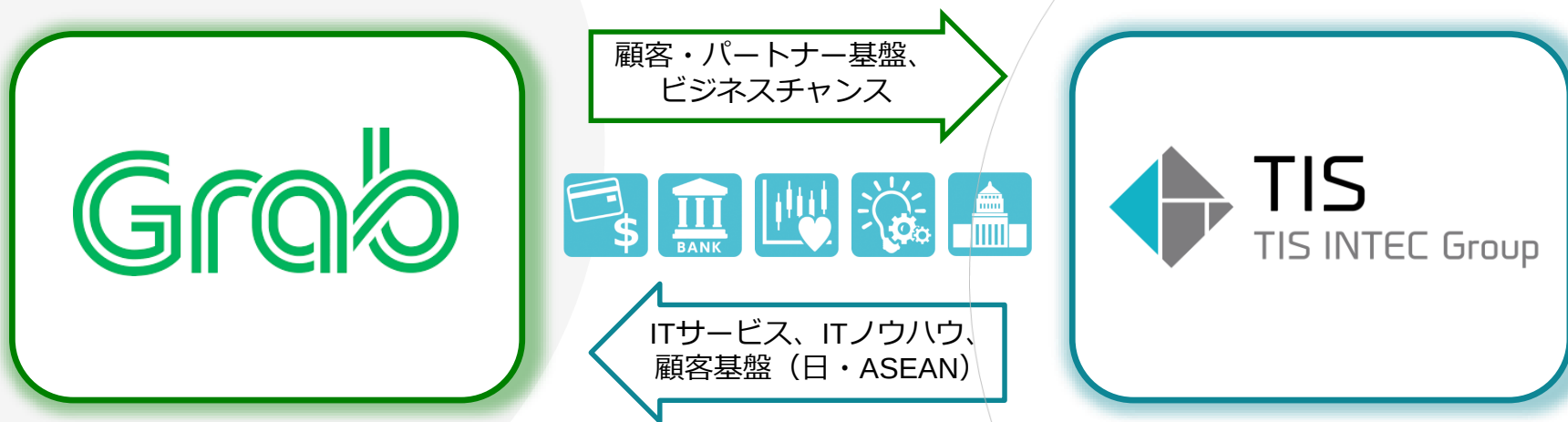


2026年にグローバル売上高1,000億円を目指し、ASEAN上位3社^{*1}と同等レベルの連合体を組成。



ビジネスシナジー / TIS + Grab + CIL

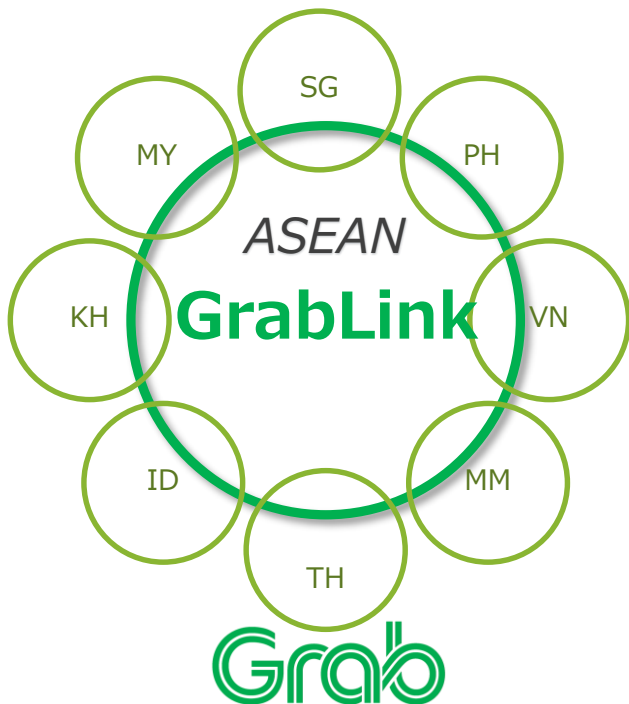
- ✓ ASEAN No.1のスーパーアプリケーションプレイヤーのITサービスを支える存在になる
- ✓ 決済のみならず幅広いテーマにおける協創関係を構築し、新たなサービス事業を創出





事例1

- ✓ 合併会社「GrabLink」を通じ、Grab決済サービスのITプラットフォームを提供
- ✓ TISとCardInfoLinkが共同推進する「EVONET」に“GrabPay”が接続予定



* 2020年2月 資本・業務提携

© 2020 TIS Inc.

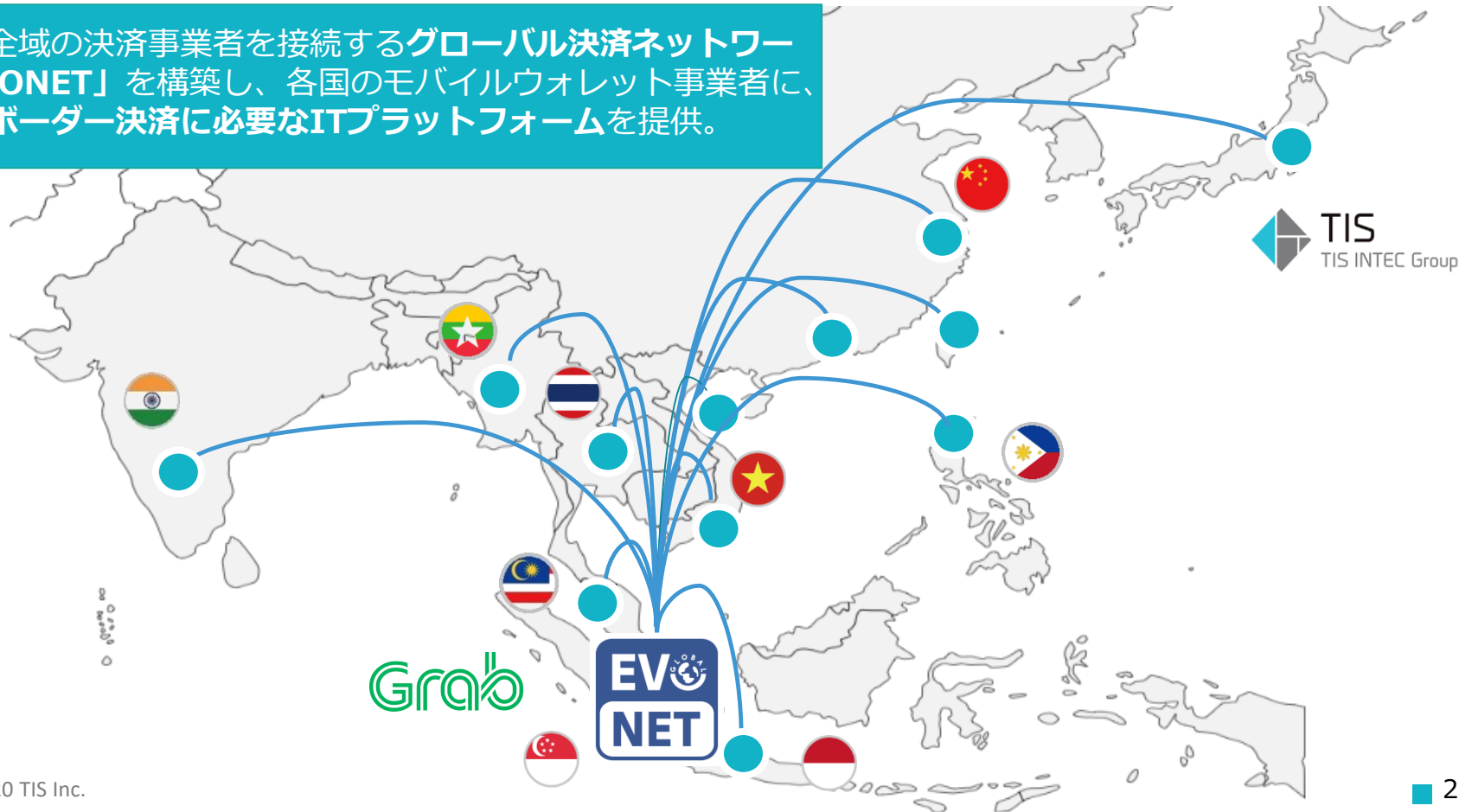


* 2020年3月 持分法適用会社化



EVONET事業 ～市場ニーズと目指すポジション～

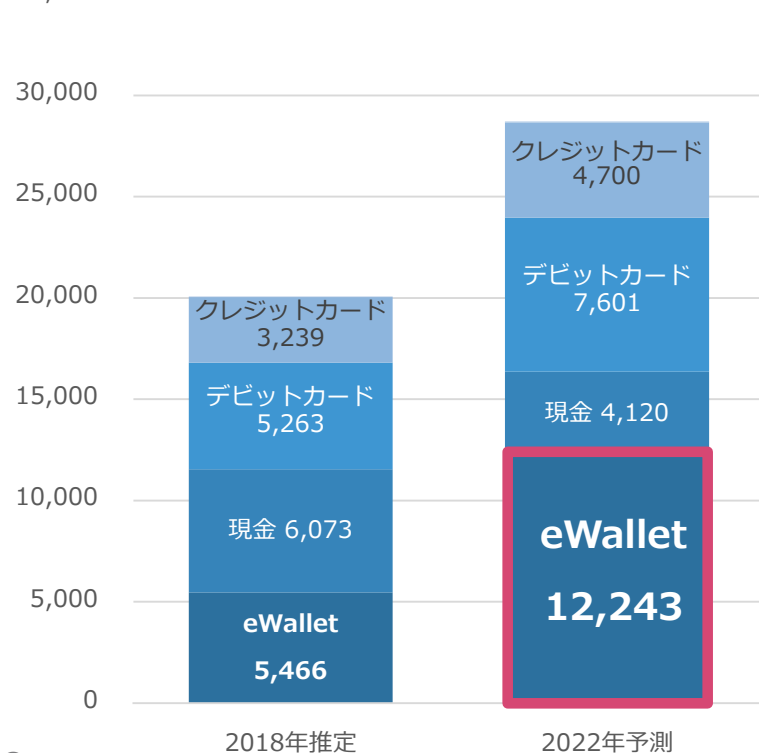
アジア全域の決済事業者を接続するグローバル決済ネットワーク「EVONET」を構築し、各国のモバイルウォレット事業者に、クロスボーダー決済に必要なITプラットフォームを提供。



対象市場は2022年に13兆ドルに成長する見込み

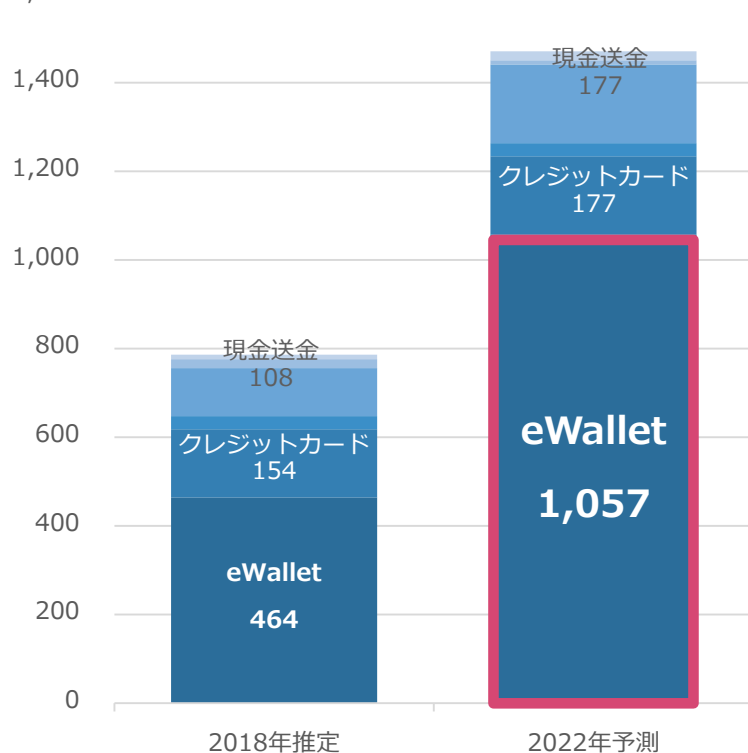
10億ドル
35,000

◆アジアの店頭決済動向



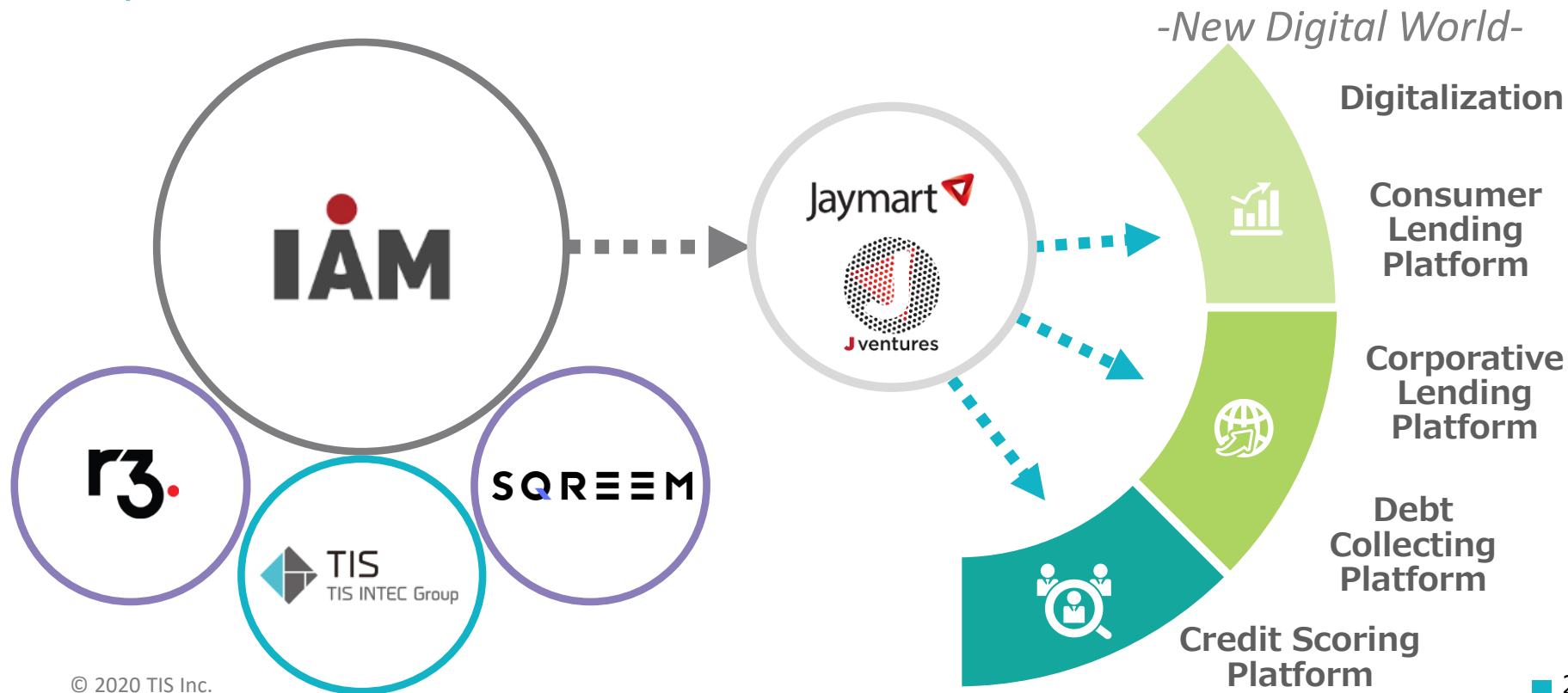
10億ドル
1,600

◆アジアのECモバイル決済動向

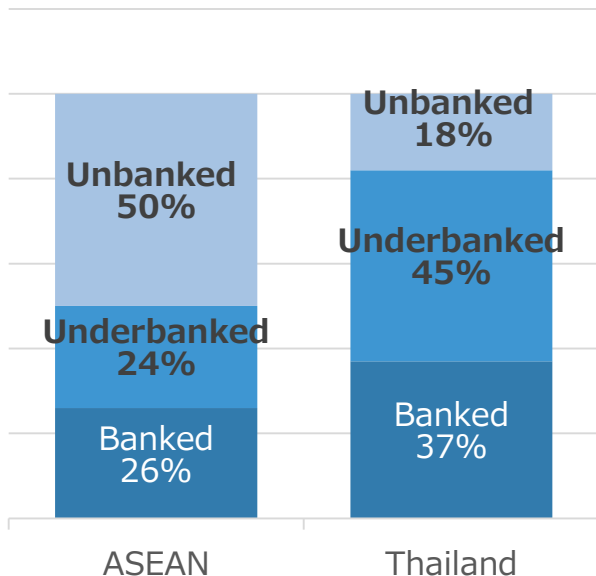


ビジネスシナジー / TIS + IAM + R3, SQREEM

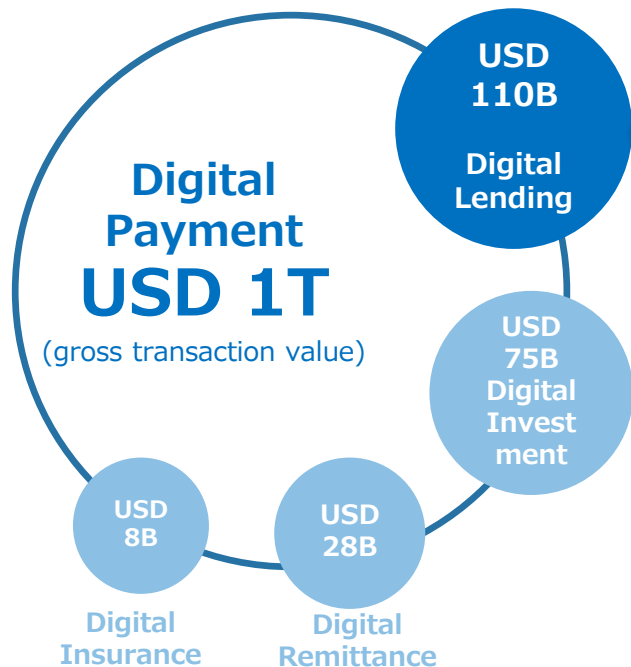
- ✓ タイ子会社のIAMは、R3などの資本業務提携先と共に、タイ大手流通業者Jaymartグループのデジタル・トランスフォーメーションをサポート



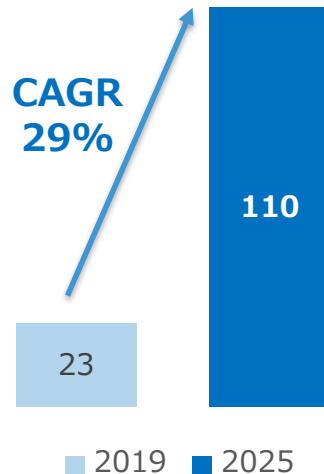
◆ASEAN・タイにおける 銀行口座保有率



◆2025年市場予想 Digital Payment In ASEAN



◆市場成長率 Digital Lending Growth



ビジネスシナジー / TIS + MFEC

- ✓ 2014年の資本業務提携契約締結以降、提携関係の強化を経て、MFECグループの連結子会社化を実施



1997年設立のタイのエンタープライズ向けITソリューション提供のリーディングカンパニー。
2003年タイ証券取引所上場。グループ企業は10社。

売上高*
133億円
(2019年12月期)

営業利益*
8.7億円
(2019年12月期)

従業員数*
1,468名
(2020年9月末時点)

連結子会社化
までの
ステップ

2014年 4月
資本・業務提携
(17.7%)

2017年 3月
持分法適用会社化
(20.0%)

2018年12月
株式追加取得
(24.9%)

2020年10月
連結子会社化
(49.0%)

- ✓ タイ子会社であるMFECは、タイ現地日系企業と協業しデジタルマーケティングサービスを展開



Data Management Platform as a Service

Media & Platform



Social Media



Conversation Marketing



Data Science
Visualize and
Marketing Analytic

SEO Service

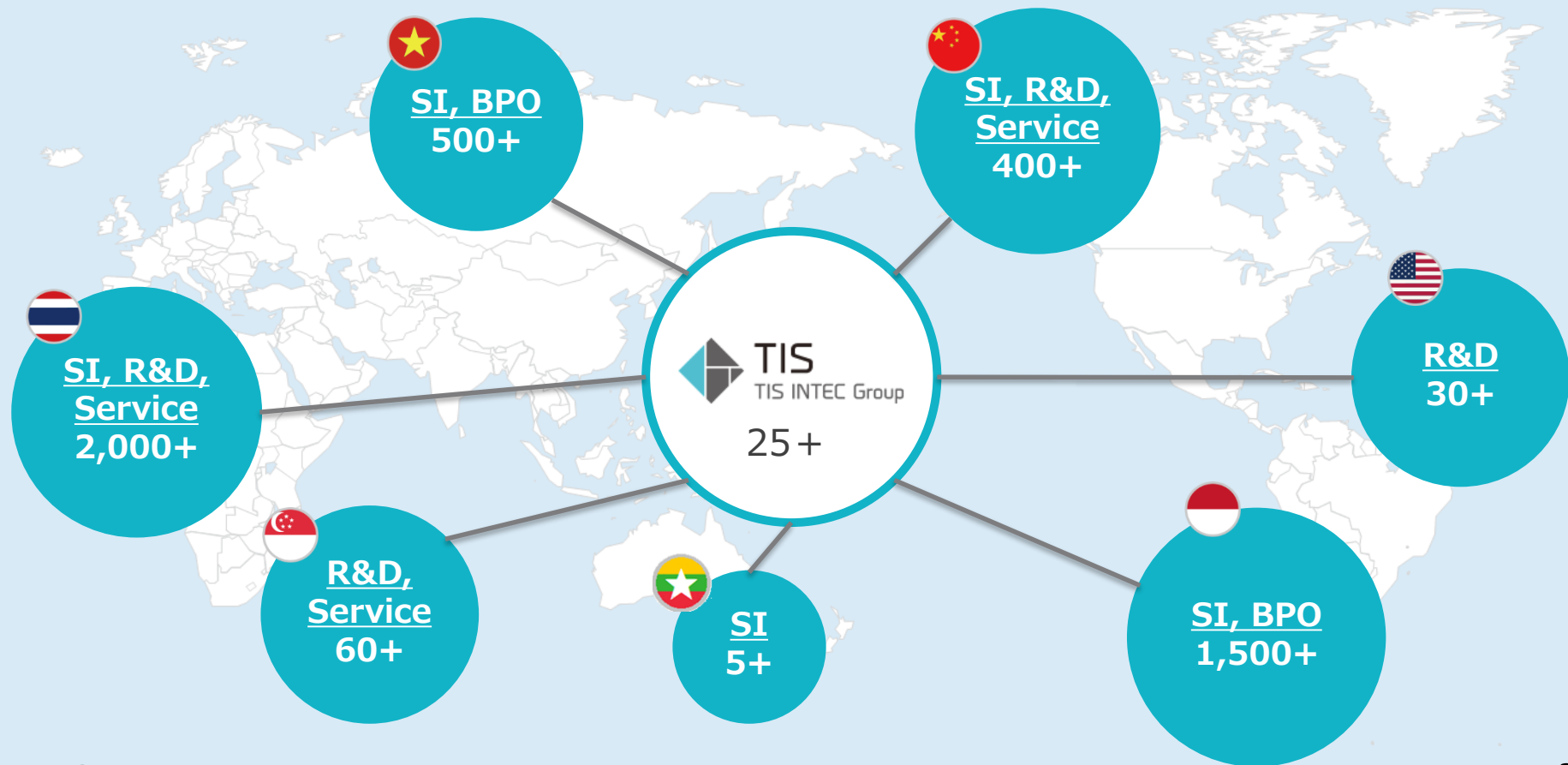


Consultant
Service



タイ
マーケット

グローバルチーム





執行役員 グローバル本部 副本部長
I AM Consulting Founder Director

Thanawat Lertwattanakarak (Taro)

【Why TIS INTEC Group?】

タイ現地企業として一流のコンサルティング会社を目指し、2004年にIAMを設立しました。2014年には正社員約250名、売上高が約4億THB（約14億円）の会社になりました。

我々は次のステップを、タイ市場を超えて、より広い地域での成長を目指すことに決めました。そのため、東南アジアの市場に挑戦する為のパートナーを探していました。

その時に日本でトップクラスのIT企業のTISと出会うことができ、話し合いの中で特に経営理念の点でTISとIAMの相性の良さを感じました。「お客様の成功等すべてのステークホルダーから評価いただける企業価値の向上を目指す」との理由でTISインテックグループに参画することを決断しました。

現在は正社員が約400名、売上高が約8億THB（約28億円）の企業に成長出来ました。これは、TISインテックグループでの6年間、経営理念の共有を通じてTISインテックグループと一緒に実現した成長の証だと思っています。

【What is the expectation for I AM's future?】

デジタルトランスフォーメーション（DX）の時代を迎え、IAMも大きなチャレンジの時を迎えていると思っています。DXの実現には、様々なスキルセットが必要となる中、これまでのIAMはERPのコンサルティングのスキルセットが中心になっていました。

それに対し、TISは日本でトップクラスのIT企業として、数多くのソリューションを保有し、さらに世界中の最新テクノロジーを持つ有望企業への投資を通じて、更なる知見の獲得を続けています。それらは、例えばBlock Chain・AI・Big Data・Machine Learning等に及びます。TISインテックグループからは、それらのテクノロジーとノウハウをIAMに展開して貰い、IAMで現地化することで、この地域の顧客のDXを確実に推進したいと考えています。

このようなIAMの更なる成長を今まで同様にサポートしてくれることをTISには期待しています。



MFEC Founder CEO
Siriwat Vongjarukorn

【Why TIS INTEC Group?】

MFECは、トムヤムクン危機（アジア通貨危機）があった1997年に創立し、その危機を上手く乗り越え、今日まで継続的に成長することが出来ました。創立6年目にSET（タイ証券取引所）上場を果たし、今年で上場してから17年が経ちました。

最初の10年間でMFECは飛躍的に成長し、売上高が50億THBに到達しましたが、それ以降、世界の技術が急速に進化し、当時主流であった技術や大手ベンダーが徐々に勢いを失っていきました。MFECはこのような環境変化に合わせ、柔軟に事業を展開することにより、この6～7年は安定した状態を維持しています。しかし、現在の売上高、利益、そして1,000名を超える人材をMFECが今後も持続的に成長していくためにはどうするべきか、考える必要があると思っています。

今回MFECがTISと一つになろうとした理由は、まず、TISがMFECのビジネスパートナーとなってから6年が経ち、その間、一緒に様々なビジネスを進める中で我々にはケミストリーがあることが分かったこと、次に、両者の経営理念に共通点が多く、お互いに対する尊敬・信頼が高まってきたこともあり、とても楽しく仕事ができているということ、そして最も重要な理由は、TISが海外展開を目指しているのと同様に、MFECもタイから海外展開を目指し、海外売上における新しいSカーブを作っていきたいという考えがあったことです。持続的なビジネスの成長という同じ目標を持っているパートナーがいることによって、お互いを高め合うことが出来ると思っています。

【What is the expectation for MFEC's future?】

MFECの成長戦略の一つはこの4年間注力しているトランスフォーメーションです。経営の進め方を始め、ビジネスモデル全体を改善しました。現在、トランスフォーメーションの第一段階が終わり、バリュー・チェーンを向上させるビジネスを新しく見つけることが次の課題です。元々、MFECのメインビジネスはシステムインテグレーションとITサービスでしたが、利益率の向上のため、自社ソリューションを開発し提供する方針に変更しました。新たなビジネスモデルによる新たなプラットフォームを創り出すことにより、持続的成長を目指します。最後に、MFECがTISにとってASEANにおける事業拡大の重要な武器になれること信じています。

Appendix

本社	パートナー（投資時系列順）	当社との関係	会社概要
	 MFEC Public Company Limited	連結子会社	タイ証券取引所上場の、エンタープライズ向けITソリューション提供のリーディングプレイヤー
	 I AM Consulting Co., Ltd.	連結子会社	タイにおけるSAP関連ITソリューションをトータルプロデュースするコンサルタント集団
	 PT Anabatic Technologies Tbk	持分法適用	インドネシア証券取引所上場の同国内トップクラスのIT企業
	 PromptNow Co., Ltd.	連結子会社	金融機関向けに自社モバイルサービスを多数保有するタイの有力FinTechプレイヤー
	 Shanghai CardInfoLink Data Service Co., Ltd	持分法適用	ペイメントゲートウェイソリューション等を武器に中国・グローバル展開中のFinTechプレイヤー
	 R3 HoldCo LLC	資本業務提携	企業間取引向けブロックチェーン関連技術において世界トップクラスの実績・ブランドを誇る米国スタートアップ企業
	 TinhVan Technologies JSC.	資本業務提携	ベトナム政府・金融機関への導入実績を多数保有する有力ITサービスプロバイダー
	 PT AINO Indonesia	資本業務提携	インドネシアにおける交通インフラ決済サービスを提供するFinTechプレイヤー
	 SQREEM Technologies Pte. Ltd.	資本業務提携	世界最大規模の行動パターン・データ・アグリゲーターで、膨大なデータを基に独自のAI技術を利用したデジタルマーケティング、データ分析分野で急成長を遂げているスタートアップ企業
	 Sequent Software Inc.	連結子会社	複数の国際ブランドからの認定を受けている世界でも数少ないトークナイゼーションベンダーの1社
	 Grab HD Inc.	資本業務提携	ASEAN トップクラスのスーパーアプリを展開。配車サービスをはじめ、フードデリバリーや金融事業など多岐にわたる事業を次々に展開し、累計2億300万ダウンロードを誇る。
	GrabLink Pte. Ltd.	資本業務提携	Grab決済サービスのITプラットフォームを提供する合併会社
	 Entropica Labs Pte. Ltd.	資本業務提携	量子コンピュータのソフトウェアを展開するシンガポールのスタートアップ企業

THANK YOU



<ロゴマークに込めた思い>

新たな挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現されるロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである『IT』2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としてのTISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

<ブランドメッセージ「Go Beyond」>

現状に満足せず、常に新たなチャレンジを求めて「その先に向かって」歩み続ける。クライアントの課題をクリアするだけでは満足せず、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして、「一歩進んだ提案をしていく」という当社グループの強い意思を表明しています。

<ご注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。

本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。